



清瀬市立清瀬第三中学校

◇◇一人一人が輝く三中◇◇

学校だより2月号

〒204-0002

清瀬市旭が丘1-262

Tel 042-493-6313



学校HP QRコード

社会総がかりで育てる学校

校長 井上 隆

先月1月17日(土)に文化発表会を実施しました。今年度からの学校行事で、以下の生徒が発表をしました。この行事の目的は、三中生が清瀬市の取組に応募、参加し学んだ成果を発表する機会を設けること、そして、学んだことを三中生に還元し学びの連携の機会とすることです。

一つ目の発表は、2年生の荒井 琴実さんの清瀬結核サミットの発表です。結核は、結核菌による感染症で、古くからある病気ですが、日本では主に明治期以降、都市化と工業化の進行に伴ってまん延しました。「国民病」とも「亡国病」とも呼ばれた結核と清瀬とのかわりかは、昭和6年(1931)に結核専門病院である東京府立清瀬病院が開設されたことが始まります。清瀬市は「結核と向き合った歴史」を持つ特別な街として、その歴史が現在も受け継がれている地域としてされています。そのような歴史をもつ清瀬市の結核との闘いの取り組みを広く世界に向けて発信して理解を深めるとともに、後世に引き継いでいくために「清瀬市結核サミット」が開催されました。荒井さんはその歴史について学び、11月の清瀬市結核サミットで感想発表してくれました。清瀬の歴史と功績について学ぶ機会となりました。



二つ目の発表は、ビブリオフォーラムの発表です。清瀬市では毎年10月に清瀬市ビブリオフォーラムを開催しています。ビブリオフォーラムには、2年生の滝澤 祐希さんが発表しましたが、今回は1年生の川嶋 吉乃さんも書評発表を行いました。二人とも本の魅力、楽しさについて存分に伝えてくれました。



三つ目の発表は、ピースエンジェルの発表です。ピースエンジェルとは、清瀬市が平和学習として小中学校生から募集し、代表者が2泊3日で実際に広島に訪問し学習、原爆の歴史・悲惨さについて学ぶ取り組みです。三中から2年生の高橋 美心乃さん、中川 怜美さんが選ばれ、8月に原爆や戦争について学び、報告発表してくれました。昨年は終戦80年という節目の年でもあり、平和教育の一環として全校生徒の学びの場となりました。



四つ目の発表は、生徒会の発表です。文化発表会の2週間後の1月31日に清瀬小学校で清瀬市教育フォーラムが開催されました。第1部で市内の小中学校の児童会・生徒会が集まり、「みんなが気持ちよく過ごせる学校にするために」をテーマに協議、発表を行いました。事前の発表となりますが、三中の取組について全校生徒で共有することができました。



これらは、清瀬市が目指す生徒の「好き」(興味・関心)を育み、「得意」を伸ばし、情報活用能力の向上へとつなげる事業であり、「深い学びの実装」に向けた社会総がかりでの取り組みの一つであると思います。これからの教育活動は学校内だけでなく、社会総がかりでの教育の実現が求められています。学校は、地域社会の中でその役割を果たし、地域とともに発展していくことが重要です。本校は学校経営計画の一つである「地域と協働した学校」を目指し、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育てることを目標としています。これからの予測困難な時代に、労働市場の流動化、就業期間の長期化、マルチステージの人生モデルへの転換が進んでいます。文部科学省では、次期学習指導要領に向けて、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら「自らの人生を舵取りすることができる力」「民主的で持続可能な社会の創り手」を「みんな」で育むとしています。この「みんな」とは、学校・保護者・地域そして教育委員会を含めた関係機関であり、本校でも、「みんな」で「社会総がかり」で、これからの未来を切り拓き、生き抜いていく子供たちを育てていくことを目指してまいります。

挑戦の先に見えた一人ひとりの輝き

1月26日(月)と27日(火)には、都立高等学校の推薦入試が行われ、本校からも多くの三年生が挑戦しました。また、それ以前には私立高等学校の推薦入試にも多くの生徒が臨みました。皆さんがこれまでの中学校生活で積み重ねてきた努力や思いを胸に、真剣に取り組む姿は、とても立派でした。

面接練習で皆さんと向き合ったとき、昨年とは比べものにならないほどの成長を感じる場面が多くありました。緊張しながらも自分の考えや思いをしっかりと伝えようとする姿、何度も工夫して挑戦する姿には、頼もしさと輝きがありました。生徒一人ひとりが、自らの生き方を舵取りしようとする力を少しずつ身につけていることを感じました。

推薦入試は結果だけでなく、挑戦する過程そのものが大切です。努力を積み重ね、考え、表現し、仲間と支え合った経験、そのすべてが、これからの皆さんの力になります。

三年生の皆さん、どうか自分の歩みを誇りに思い、未来に向かって一歩ずつ進んでください。そして、後輩の皆さんには、三年生の姿を見て学んでほしいと思います。挨拶や時間を守ること、仲間を思いやること、挑戦し続ける姿勢、一人ひとりの行動が学校全体の輝きにつながります。皆さんも、その一員として、これからの三中をさらに素晴らしい学校にしていってください。

皆さん一人ひとりの輝きが、これからの道を照らす光となることを、私は信じています。教職員一同、皆さんの挑戦をこれからも応援しています。

副校長 渡辺 千寿



成長の足跡が見られたスキー教室

1月25日(日)から27日(火)までの3日間、新潟県シャトー塩沢スキー場において、中学校1年生のスキー教室を実施いたしました。期間中は大きな事故やけがもなく、全員が無事に日程を終えることができましたことを、大変嬉しく思っております。

初めてスキーに挑戦する生徒も多く見られましたが、転んでも何度も立ち上がり、あきらめずに挑戦し続ける姿が印象的でした。うまくいかない中でも仲間と励まし合いながら前に進む姿は、これからの学校生活において困難に直面したときにも、必ず大きな力になるものと感じております。

また、今回のスキー教室では、本校が大切にしている「あじみこし」が随所に見られました。気持ちのよい挨拶、時間を意識した行動、場にふさわしい身だしなみ、相手を思いやる言葉遣い、そして話を聞くときや行動する場面での姿勢など、一人一人が集団の一員として自覚をもち、行動する姿が見られました。

このスキー教室を通して、生徒たちはそれぞれが自分の課題に向き合い、乗り越えようとする中で、確かな成長を遂げました。その姿からは、一人ひとりが輝く三中の実現に向けて、着実に歩みを進めていることを強く感じました。

この経験を今後の学校生活につなげ、互いを認め合い、高め合いながら、さらに輝きを増していくことを期待しています。

最後になりましたが、本行事の実施にあたり、ご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、ならびに現地でご指導いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



2月の予定

2日(月)全校朝礼・安全指導 都立推薦発表
4日(水)定時退勤 DAY *留守電17時から
5日(木)ESAT-J 英語スピーキングテスト 1・2年生
6日(金)⑥カット 専門委員会 中央委員会
9日(月)生徒会朝礼
11日(水)建国記念の日
13日(金)避難訓練
16日(月)①1年学年リハ
17日(火)①2年学年リハ PTA 評議員会
18日(水)⑤3年学年リハ 職員会議 再登校16時から
20日(金)新入生説明会 ⑥カット
21日(土)都立一次・前期検査
22日(日)都立一次・前期検査
23日(月)天皇誕生日

24日(火)学年末考査(理・英・美)
25日(水)学年末考査(国・体・音)
26日(木)学年末考査(社・数・技家)
学校運営連絡協議会
27日(金)校外学習 F組



(裏面) 副校長：渡辺 千寿